

「東京いー散歩」

担当教員名 後藤 彌彦

コース概要

日程	2016年9月6日、8日、13日、 15日
場所	東京官庁街、下町、山の手
参加人数	14名

コースのねらい

江戸と東京のまちづくりに関する施設を訪ね、その歴史を学ぶとともに、今後の東京の都市環境、都市景観、都市の緑と防災を考える視点を提供します。

内容

- 1日目 昭和初期の官庁計画による旧文部省ビルで大臣室などを見学しました。次ぎに国会議事堂、国会前庭、桜田門などを遠望しながら、明治の官庁集中計画による旧法務省庁舎と中の法務資料展示室を見学しました。農林水産省食堂で昼食ののち、日比谷図書館（千代田区の都市形成に関する展示）、日比谷公会堂を見つつ、日本初の西洋式庭園である日比谷公園を散策しました。
- 2日目 深川江戸資料館で江戸の暮らしを学んだのち、清澄庭園を訪ねその歴史と都市の緑の拠点としての役割を学びました。局所豪雨の予報で、隅田川に沿って散策することを中止しました。
- 3日目 上野公園から不忍池を経て、旧岩崎庭園でコンドル設計の明治期の洋館建築を見学しました。東大構内を散策し、赤門や昭和初期の校舎建築を見るとともに食堂で昼食をとりました。水道歴史館で江戸から現在に至る水道を学び、終わりに震災小公園元町公園を訪ね、水道橋で解散しました。
- 4日目 王子駅近くの音無親水公園を経て、江戸庶民の行楽地飛鳥山公園を歩き、隣の渋沢栄一の屋敷跡を訪ねました。西ヶ原一里塚を経て、地震の科学館で震度7を体験し、旧古河庭園で和洋調和した庭園を散策しました。女子栄養大学で昼食ののち、西ヶ原ふれあい公園で防災と環境を考慮した都市公園を見学しました。終わりに、旧中山道を歩きとげ抜き地蔵に参拝し、巣鴨で解散しました。

